



## 建築からみた福祉とまち

〈サロン・あべの〉6月の出会い  
 られながら育ちました。

《西宮市の市街地》

〈サロン・あべの〉6月の出会いは、平成19年6月16日(土)、育徳コミュニケーションセンター研修室で、「建築からみた福祉とまち」をテーマに建築士の中北清さん(中北建築事務所代表取締役)のお話しをうかがいました。

### ■自己紹介(居住地と生活の変遷)

《大阪市北区の下町》

商店街の店舗兼住宅で幼稚園まで過ごしました。下町の暴れん坊で、おき屋さんのケースに水鉄砲で水をかけたり、おふる屋さんのガラスを割るなどの「事件」を起こし、地域の人に叱

方に疑問を感じました。

《あべの》

思い切ってそれまでの仕事を断り、事務所と住居をあべのに移しました。バブル期にはゴルフ場のクラブハウス設計などをしていましたが、その後は医療・福祉関係の仕事に特化し、病院や福祉施設の設計を多く手がけています。

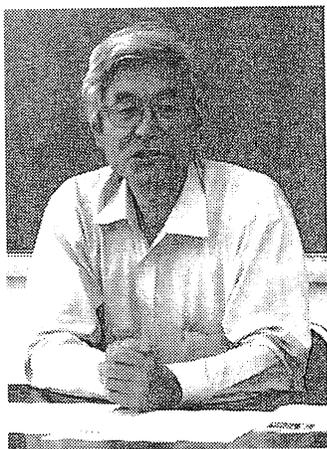
### ■「ふくてつく」との出会い

《川西市のニュータウン》

設計事務所に就職し、建築士の受験、結婚、家造りを一度に迎えました。新居のニュータウンはみんなが似た生活をする独特の環境でした。5年で独立し大阪市北区の小さな部屋で事務所を開きました。人の縁に恵まれ

仕事は安定していましたが、友人の死をきっかけに仕事のやり方

「ふくてつく」(福祉とテクノロジの造語)は来年で15年を迎えます。介護保険も住宅改造に熱心に関わる事業所もない時期に始められた有償活動のグループに事務所の仲間と建築士第1号として参加したのですが、この活動は福祉と私の仕事を大きく結びつけてくれ、既存の建物を活用したグループホームや生活介護の拠点づくり、阪神淡路大震災で被災した生活ホームの仮設住宅づ



中北 清さん

くりの支援などを行ってきました。うとしています。

介護保険制度ができて、住宅改造を行う事業者も多くなりました。そのため「ふくてつく」のミッション（使命）では、自ら改造することより、事業者が行った改造が適切かどうかを検証する役割が大きくなっています。ある市から助成した住宅改造を検証する事業を受託しており、大阪市にも呼びかけていますが、残念ながらそこまで手が回らないようです。また、福祉サービスの第三者評価事業にも取り組み

構造としておかしいと思います。

今の日本の戸建て住宅の平均寿命は20年そこそこで、イギリスの80年、アメリカの50年とくらべてとても短いです。住宅を社会の資産と考えて将来を見据えた家造りをしないことが、住環境を悪くしている一番の要因です。また、核家族で家族構成が単純になり、仕事、子育て、冠婚葬祭などを外でするようになったことも、住宅が単なる箱になり、文化としてのレベルが下がった原因だと思っています。

折でねたきりになったことがきっかけで亡くなった方なども含めるともつと多く、「いつてらっしゃい、気をつけて」ではなく、「おかえりなさい、気をつけて」という状況です。これは建築士の責任と同時に、最低限の決まりである建築基準法を上限としよう市民の意識も含めて変えていく必要があります。

がとても役立っています。

《安全・安心》

■我が国の住環境の評価

《住環境》

阪神淡路大震災では西宮に住む姪を亡くし、避難所生活で母が健康を害しました。「日本の住宅は大丈夫」という神話が崩れ、建築の脆弱さを思い知りました。住宅内の事故で死亡した人は年間1万人以上で、交通事故で亡くなる人よりも多いです。骨

かつて日本を訪れた外国人は、まちと人の心の美しさを絶賛しました。「きれい」と「美しい」は違い、「美しいまち」は絵になるまちだと思います。日本人全体が住文化を見直すよう地価や税制なども含めて考える必要があります。

■精神病院建設に関わって

我が国の住環境は貧弱で、ふつうに働いてあたりまえに家をもつことが難しいのは、社会全体の

今、大阪市内のある町で精神病院の建設に関わっています。住民

の方から「なぜここに?」、「なに  
かあったら責任は?」などの意  
見が出されましたが、精神科医  
療がめざすものが昔と変わって  
いることを説明するとともに、  
地域の役員さんが会合をリード  
して、話を整理してくださいと  
います。その町には「人をあたた  
かく受け入れる雰囲気」があり、  
話し合うことで地域がさらにま  
とまりました。このようにハー  
ドをつくる課程で大きなソフト  
をつくっていくことをやりがい  
に、建築をしています。

休憩のあと、お茶をいただき  
ながら参加者のみなさんで住宅  
やまちについて話し合いました。  
そのなかから、中北さんに補足  
していただいたものを紹介しま  
す。

\* 家庭内事故の原因と建築士と  
して気をつけていることは

——家庭内事故は大きな段差

などより、自分では危険と思わ  
ない小さな段差で起きやすいです。  
浴槽での事故は寒いところから  
急に温度が変わってめまいが起  
きたり、湯気で目が見えなくなる  
ことが原因なので、浴室を暖める  
とよいです。ぬるめのお湯で半身  
浴にしたり、大きすぎる浴槽にし  
ないことも大事で、滑り込まない  
よう工夫した浴槽などもありま  
す。

\* 障害がすすんだり病気のため  
に住宅改造が必要になった

——障害は徐々に進行するの  
で、住宅改造を「いつするか」の  
タイミングは難しいですが、自治  
体によって補助の内容や自己負  
担などが違うので、相談してくだ  
さい。

\* 昔のまちなみは美しかった

——昔は建材が少なく、地域に  
あるものを使っていたのでまち  
なみに統一感があったのだと思  
います。

\* 昔の日本建築は美しかったが、  
バリアは多かった

——バリアフリーには限界が  
あり、障害の種別によってバリ  
アが違うので、誰にでもあう「ユ  
ニバーサルデザイン」の流れに  
なっています。しかし、ハードだ  
けで対応するのは無理なので、  
人間の知恵や作法も考えないと  
いけません。日本古来の文化は  
下駄や風呂敷、箸などユニバー  
サルデザインであり、福祉でも  
活かせないかと思えます。

\* 長屋を自分でリフォームした

——大阪市内には質の高い借  
家が多かったのですが、財産と  
して活用されないと維持できま  
せん。京都ではNPOが長屋を  
再生し、他の組織が福祉で活用  
しています。資産家、建築家、福  
祉の専門家が協力できるしかけ  
をつくるよう、サロンのような  
場が必要です。

\* バリアフリーは人の心や助け

合う関係がないと実現できない  
——よその子どもを叱ったり  
許したりできるまちになるよう、  
住むだけでなく、いろいろなも  
のが混ざっていることが重要で  
す。昔、御堂筋をつくるために税  
金をかけたので、旦那衆が住ま  
なくなつて船場の文化が衰退し  
たといわれますが、残っている  
大阪の文化をまちづくりはどう  
活かすかが重要です。

\* 今の家は10年でおかしくなる

——昔の家は自然に順応する  
よう風通しなどを大事にしまし  
たが、今は気密性を高めている  
ので家にとっては負担が大きい  
です。また、手入れが不要な家が  
増えましたが、そのような家は  
住んでいる人の顔が見えません。  
孫子の代まで使うという住まい  
の文化をもち、維持にお金がか  
かるのは当然と考えないといけ  
ないと思います。

(参加者20名 原田仁)

## 約束を守れない



いま、あなたの悩みを聞かせてくださいと聞かれたら「約束を守れないことです」と答えるだろう。たとえば、このサロンの

原稿にしても締め切りは、たいてい守れない。毎月のことだから間に合いそうにないのはわかっているのに、いつも同じことを繰り返している。だんだん自己嫌悪に陥ってくる。

「そんな大げさな」と言われるかもしれないが、サロンの原稿だけならまだしも、万事こんな調子なのである。恥ずかしい話だが、何年も前に約束した原稿がまだ出ていない。それを考えただけでも心が凍ってしまうというか、いったい何を書けばいいのか、すっかり忘れている感があるので、ますます書けない。それで、それを約束した人には合わせる顔がない。コソコソと目を反らすようになってしまい情けないことだと思ふ。

「ごめんなさい、まだ書いていなくて」と言い訳をして、事情をあれこれ付け加えると、親切にも時間をかけて対処の方法を教えてもらったことがある。「こんなふうには

すればどうか」「こういう方法もある」という感じである。でも、せっかく機会を与えられたのだから、自分で納得できる方法をとりたいと思う。それで、せっかくの助言も聞き流すことになってしまふ。その結果、私の申し訳ない気持ちは、ますます高まってしまふのである。

忙しいなんていうことは言い訳にならない。誰だって忙しいわけである。ある調査によれば、十年くらい昔の日本人よりもいまの日本人のほうが忙しいらしい。リストラが繰り返され、少ない人員で多くの仕事をするように求められているのだろう。私なんぞより忙しい人は山ほどいる。私は何ら特別な状況にあるわけではない。

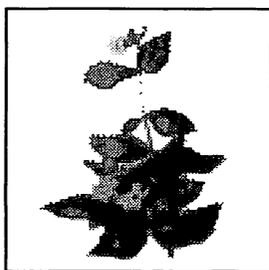
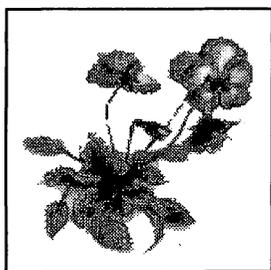
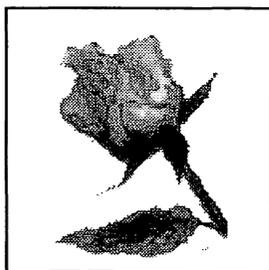
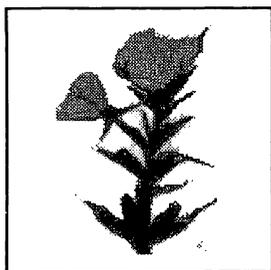
できもしないことを引き受けすぎるのではないかと反省したこともある。一時期、何もかもできるだけ仕事を断り続けた。しかし仕事を減らしても、何年も出せなかった原稿に手がつけられない。たまに余った時間があつても、どうでもよいことに何日もかけてしまふ。遅れてしまった課題に真正面から向かい合うのを避けているのである。

これはチャンスを与えられすぎている幸運な状況なのかもしれない。自己嫌悪に陥り、自分を責めるよりも、機会を提供してくれた周囲に感謝したほうが良いのだろう。「申し訳ない」「合わず顔がない」「私のことを、きつと無責任な奴だと思つて軽蔑しているだろう」といろいろ考えて、正直いつて萎縮してしまつてゐる。

さらに言えば、そういう状態が何年も続くと自分のほうが被害意識をもつことがある。「何をしつこく待つてゐるんだ！まだ期待しているのか！」というわけである。溜まつた家賃を催促した大家が借り主から「いつまで催促するつもりだ！」と怒鳴りつけられるという落語があつたが、それに似てゐる。こうなると心理が倒錯してしまつてゐる。

だから、私の場合は、あまり自分を責めないようにしたいと思つてゐる。何度、嘆いたところで何も解決しない。ただ待つてゐてくれる人にひたすら感謝の気持ちを持ち続けたい。そうして気持ちを明るくすれば、厳しい現実に向かう勇気が湧いてくるような、そんな予感(?)があるのだ。(知)

## ●花のにおりを はがきにのせて



サロンの

絵はがき

—花だより五集

5枚1組180円

# Mai スウェーデン 留学記 10

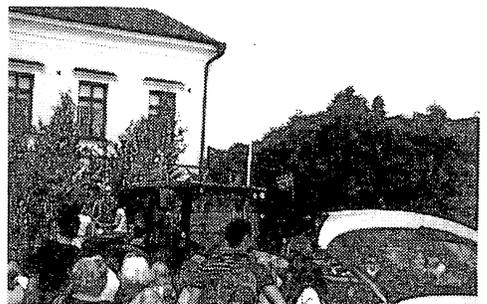
## スウェーデンで学んだこと

蒸し暑い日が続いております。スウェーデンはあまり天気が良い日がなく、少し寒いそうです。早く夏らしい天気になってほしいというのがスウェーデンの人達の願いですから、少し分けてあげることができればいいのにと思っています。

さて、今回は、6月半ばに行われるスウェーデンの学校の終業式と高校生の卒業式を少し紹介します。新しい学期は9月始まりなので、1年の締めくくりは6月です。日本と少し違いますね。

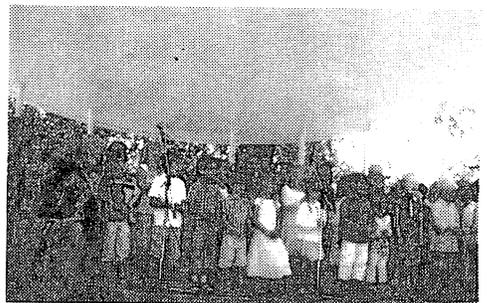
スウェーデンで一番卒業を派手に祝うの

は、高校の卒業です。大学ではありません。スウェーデンは18歳から成人として認められます。高校の卒業は、「大人」として歩む第一歩でもあるのです。もちろん18歳からアルコールもOKなわけです。高校卒業後、大学に進学するもの、専門学校に通うもの、就職するもの・・・それぞれの道を歩んでいきます。卒業



高校の卒業式のパレード (ヴェクショー・大広場にて)

式がなぜ「派手」なのかというと、クラスで大型トラック、トラクターをチャーターしたり、家族の運転する車に飾りをつけて、ダウンタウンをパレードするのが毎年恒例なのです。親は、子どもの赤ちゃんのときの写真を引き伸ばして、それをプラカードにして持ち歩きます。子ども達は、白い帽子をかぶり、帽子の裏に、友達からたくさんメッセージを書いてもらうのだそうです。親の運転する車に乗り込んで大音量の音楽をかけ、時には、アルコール類、ビール類を片手に大騒ぎしてパレードする姿を笑いながら見守っている街の人達。普段はおとなしくシャイなスウ



学校の終業式 (ヴェクショーにて)

エーデン人もこのときはお祭り騒ぎのようになっていきます。でも、警察も出動しないし、みんながのんびりと卒業と「大人」の仲間入りを祝っているという感じですよ。日本では考えられない光景だと思います。夜は家族と一緒に、アルコールを飲んで、伝統料理を食べ、デザートにプリンセスケーキを食べるのがスウェーデン流です。

スウェーデンの卒業式ファッションを知っていますか？ スウェーデンの新聞にも紹介されていますが、白が基調だそうです。だからみんな白いパンツスタイル、スカート・・・とにかく白い服を着ています。『黒なんて絶対ダメ』



終業式後の色とりどりの  
手作りケーキバイキング（ヴェクショーにて）

というのが新聞に書かれていた記事でした。

私は、この光景を見て、ふとスウェーデン人の友達に、「羨ましいな。楽しそう。日本では考えられないもの」ともらしてしまいました。日本に留学したことがあり、日本が大好きな友達は、「たぶんそこがスウェーデンのいいところ」とちよつと自慢げでした。

卒業式で驚いたのに、今度は学校の終了式でも驚かされました。留学先の大学では、「フレンド・ファミリー」という制度がありました。これは、「ホスト・ファミリー」ではなく、週末だけとか、自分達の都合の良い時間に指定されたスウェーデン人の家族と一緒に

過ごすも

のです。「ホスト・ファミリー」よりはお互い気兼ねなく、それでいて異国の雰囲気を感じられるというこ

と、そして、私は何よりスウェーデン語で話

せる相手がほしくて、「フレンド・ファミリー」制度を利用していました。この家族は、11歳と8歳の女の子がいて、2人も芸術専門の学校に通っていて、音楽や演劇中心に勉強していました。帰国間際、終了式に誘われたので、私も家族と一緒に行くことになりました。日本の学校のようなつまらないセレモニーはなく、それまで自分達が勉強してきたことを、家族に見てもらおうという形で、各学

年の発表会が終業式でした。発表会の後、今度は、家族が作ってきた手作りケーキがテーブルの上に並べられました。それをピュッフェ方式で食べるのですが、なんて自由なのだろうと感心させられました。こういう形は、スウェーデンではよくあることらしいですが、日本の終業式で、いつも炎天下の中、倒れそうになるのを我慢しながら話を聞いていたのを思い出すと、とても信じられない思いました。家族と一緒に、美味しいケーキを頬張りながら、自由に走り回って、次の日から始まる夏休みをワクワクしながら友達や家族と旅の計画を話すほうがよっぽど人間的ではないでしょうか。

スウェーデンの子ども達の両親はほとんど共働きですが、家族と過ごす時間は、日本よ

り多いのだと思います。何かイベントがあるごとに、家族と一緒に祝いし、家族をとて

も大切にしているのです。私は「フレンド・ファミリー」の家庭だけでなく、スウェーデン人の家族のところによく遊びに行くことが多かったです。そして日本のように「お客様」としてではなく、「家族の一員」として迎えてくれ、心が安らぐ思いをさせてもらっていました。人生は他人を蹴散らして駆け抜けるものではなく、自分の思うようにゆっくりと、そして相手を思いやつて一緒に楽しむものだとスウェーデンの人から身をもって教えていただきました。とても生活が豊か、心が豊かなのです。

私のホスト・ファミリーではないのにスウェーデンでいつも私の面倒を見てくれていた、友達ホスト・ファミリーからこんな便りが届きました。「あなたが帰国してからもうすぐ1年経つなんて信じられない。いつスウェーデンに戻ってくるの？早く帰ってきなさい」そう、気がつけば1年です。またいつかスウェーデンに「帰る」つもりです。私の大切な人達が待っていてくれてる素敵な居場所に。そして再会の約束を果たすために。まだまだ時間はありますから！

(清原 舞)

晴れのち晴れ-106-

稲垣恵雄

□1冊の限定本

みなさん、すでにご存知のように私は3月17日に育徳コミュニティーセンターで本紙のコラム「晴れのち晴れ」が100回を迎えたのを記念におよそ1時間にわたってお話をさせていただきました。その時、お話が終わると、石田編集長が「晴れのち晴れ」の1回から100回までの作品を1冊の本にまとめて私にプレゼントしてくださいました。

その本のタイトルはコラムと同じ「晴れのち晴れ」で、表紙は田園風景の広がる中を4人の人達が楽しそうに歩いている絵が描かれ、100余ページのかなり分厚いものでした。そして最後に、この前に私がお話させてもらった時の直筆の原稿を掲載してもらっています。

ところでコラムの「晴れのち晴れ」は51回まではイラストは入っていませんでした

が、本の中では全作品の1つ1つにイラストが入っていました。申すまでもなく石田編集長の奥様が御多忙の中を1冊の本のために精魂込めてイラストを描いてくださったのです。私はこのことを耳にして胸がじんと熱くなり、頭が下がる思いがいたしました。

それにしましても石田編集長はなんと粋で心のこもったものをプレゼントしてくださいしたことでしょう。「晴れのち晴れ」の100回記念の良い思い出になり、本当にうれしいです。この1冊の限定本を私の宝物としていつまでも大切に保存しておきます。

石田編集長と奥様、どうもありがとうございました。心よりお礼を申し上げます。



絵がうたうー  
絵とうたうー  
童謡♪絵はがき

- ・春
- ・子ども
- ・雨
- ・冬
- ・汽車
- ・5月
- ・お正月
- ・海
- ・花I
- ・花II
- ・夏

もらった人も、思わず、歌いたくなる、うれしい、楽しい「絵はがき」

サロン20周年記念

童謡♪絵はがき

■5枚1組 ¥180

# 美智子のこんな話

岸田美智子

## 6月のアクションプラン 「高齢・障害者部会」

まず「トイレ貸します運動」の協力個所が63個所になりました。

この63個所を随時マップにしていく作業が進んでいます。この出来上がったマップをどのようにして高齢者や障害者に届けるかを話し合いました。とりあえず来年度、商工会議所から発行される「かかりつけ医」の保存版のパンフレット(カラー刷り)に掲載してくれることになりました。もちろん掲載料無料で発行部数は3万部です。他にも「JOMすみよし」にも、トイレマップをいくつかにカットして掲載していくことになっています。

そして、運動を進めていくには学校関係や医

療関係の施設に協力を求めるため、地域の教育委員会や医師会を通ずることも考えていったほうが良いということになりました。また出来上がったマップを見ると、ばらつきがあり少ない個所があります。たとえば長居近辺などへの働きかけを、推進委員が地域別ではなく、集まって集中的に活動していつてはどうかという案が出ました。次回はこの活動計画を具体的に決めていくことになりました。

また、高齢者と障害者の共通課題であがっていた「災害時の地域支え合い」の体制づくりについては、この部会だけで解決できるものではないので、アクションプラン全体として大阪市に要望しているところであり、大阪市も動き出しているとのことで、災害時の対策委員会が新たに大阪市の方で設置される予定になり、その中には当事者が必ずメンバーとして入れるように大阪市に要望しているそうです。

最後にメンバーからの要望で、同じアクションプランの他の部会がどんなことで活動しているのか?、全然情報が入ってこないのでは、他の部会の動きを毎回、簡単に事務局から報告してもらおうことになりました。他の部会がなにをやっているのか気になるそうです。次回からは他の部会の動きを聞けるといいですね。

ありがとうございます。

カンパ、お茶菓子・お茶の寄贈、また、サングッズのお買い上げなどありがとうございます。

カスターネット、神城昭子、小島敬大、高浜吉増、富田萬里子、中北清、東百合子、東谷和代、平岡太、藤井さゆり、その他の方々。(敬称略)

「邦子、..ん歳の手習い」はお休みです。

なかふつか  
中二日あけて  
手紙を書いている  
今シーズンをのりきるために

俵 万智  
(サラダ記念日)

サロンの一筆箋

一冊一〇〇枚綴り一五〇円

## お知らせ

### <サロン・あべの> 8月の出会い

内容: バザーの店「さろん亭」を開店  
 サロングッズや、タオル、石鹸  
 などお買い得の品を山積みにな  
 して、みなさまのご来店をお待  
 ちしています。

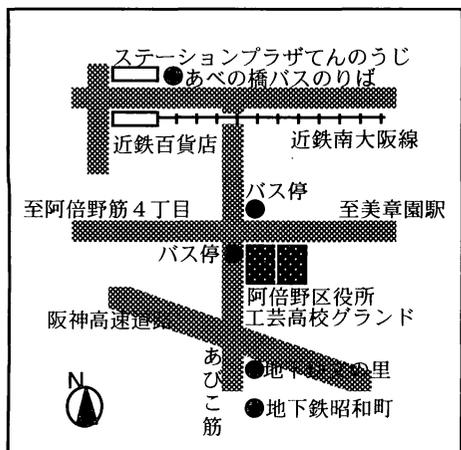
日時: 8月5日(日) 午後3時~6時

場所: あべのカーニバル  
 なんでも市通り  
 大阪市阿倍野区文の里1-1-40  
 阿倍野区役所裏、工芸高校グ  
 ランド

交通: 地下鉄御堂筋線  
 「昭和町」駅北へ10分  
 地下鉄谷町線  
 「文の里」駅北へ5分  
 市バス・赤バス  
 「阿倍野区役所」停留所前

\* 当日の販売のお手伝いをしてくださる  
 方、品物をご提供いただける方、ご連絡  
 お願いします。

問合せ先: ☎ 06-6691-1028 (富田慶子)



## 「童謡♪絵はがき」 重宝しています

梅雨の最中むしむし不快ですね。

おたよりとともに「サロン・あべの」紙2  
 52号のお届けありがとうございました。

・「5月の出会い」から

健康者の私も歯科でブラッシングのことな  
 ど指導を受けています。部分入れ歯なので食  
 後の歯磨きは欠かせません。間食のたびに思  
 うので、食べないようにしたいですが、いろ  
 いろとおつきあいだめですね。おっしゃる  
 通り時間をかけて1本ずついいねいに磨きた  
 いものです。体も心も無理をしないことが大  
 切ですね。次回のメタボリックシンドローム

についても関心ありますので楽しみにお待ち  
 しています。

・腰痛に悩む「知」様

寿老人のお姿に近づく一歩として腰痛を受  
 け入れてくださいませ。私はひざ痛ですが、  
 自分と与えられた年相応のことと受け入れて  
 います。徐々に寿老人入りです。

・夏が来た!

童謡♪絵はがきが出来ましたね。欲しいで  
 すので注文します。当地のコミュニティ放送  
 局FMピーチステーションのお昼の時間に  
 「昼どつき764」という番組がありまして、  
 その中で童謡をかけてくれます。私はとても  
 この番組が好きで、この頃、この童謡♪絵は  
 がきでリクエストしています。雨の童謡で

「あまがさからかさ」って歌詞を見ていると  
 こんな風景今どきあるのかな? となつかし  
 く思ってしまった。

季節ごとに作られた童謡、歌詞も昔の言い  
 回し言葉もなつかしい限り! 子どもの頃に  
 習った童謡は大人になっても忘れていません  
 ね。季節が変わるとまた、思い出して歌って  
 います。

・「スウエーデン留学記」の夏至祭のこと

これもFM局で盛んに話していたので興味  
 津々でなるほどと、まるで自分も参加したよ  
 うに嬉しくなりました。清原舞様によるしく  
 お伝えくださいませ。

(東 <sup>ひがし</sup> 百合子)



8月はどこのサロンの、  
どのテーマが  
お気に入りですか。  
いい出会いしませんか。

☎ 06-6757-8574

■「サロン淀川」8月の出会い

日 時：8月19日（日）午後1時30分～4時  
内 容：関西の島人（しまんちゅー）と島うた  
- 島唄に欠かせない民族楽器・三線（さん  
しん）の魅力を-

ゲ ス ト：牧 至徳（しとく）氏  
島唄の会 NHK テレビスペシャル「ふる  
さと文化優秀賞」受賞

会 費：なし  
場 所：淀川区民センター「やすらぎ」  
大阪市淀川区三国本町2-14-3

問い合わせ先：淀川区社協（ボランティア・ビュー  
ロー）☎ 06-6394-2900

E-mail：sorajii@iris.eonet.ne.jp

■「サロン・にし」8月の出会い

日 時：8月11日（土）午後2時～4時  
内 容：残暑見舞いの絵はがきを作ろう！  
（材料等準備しています）

場 所：西区在宅サービスセンター第1会議室  
大阪市西区新町4-5-14

☎ 06-6539-8075

会 費：なし

問い合わせ先：関口 ☎ 090-4281-5641

■《てくてく・すみよし》8月の出会い

日 時：8月18日（土）午後4時30分～

内 容：納涼パーティー「ビアガーデン」

場 所：当日のおたのしみ

会 費：3200～3800円

申し込み・問い合わせは8月1日以降にお願いします。

山本篤江 ☎ 06-6692-8411

携帯090-5168-5977

■「サロン・にしよど」8月の出会い

日 時：8月24日（土）13時30分～15時30分  
内 容：「西淀川ワークきさらぎ」の皆さんによる  
演奏会

会 費：なし

問い合わせ先：西淀川区在宅サービスセンター

☎ 06-6494-0635

中本 ☎ 090-9864-9678

■「サロン・つるみ」8月の出会い

日 時：8月5日（日）午後1時30分～4時

内 容：ひとつずつ、ひとつだけの世界

-ユニバーサルファッション-

ゲ ス ト：池内沙織氏（手沙織工房主宰）

会 費：なし

場 所：鶴見区民センター3階

大阪市鶴見区横堤5-3-15

問い合わせ先：鶴見区社協（ボランティア・ビューロー）

奥井 ☎ 06-6913-7070

■サロン「アイ」8月の出会い

日 時：8月11日（土）午後1時30分～4時

内 容：楽しい、納得ゲームの中で自然を感じよう

パネラー：清水まどか氏・平林梨恵氏

（関西福祉科学大学4回生）

会 費：なし

場 所：「おかちやま」2階多目的室

大阪市生野区勝山北3-13-20

問い合わせ先：生野区社協（ボランティア・ビュー

ロー）☎ 06-6712-3101

○お知らせ：サロン「アイ」だよりの音訳テープが  
出来ます。ご希望の方は、西浦まで。

■「サロン北」8月の出会い

日 時：未定

内 容：未定

場 所：障害者福祉作業センター「たけのこ」

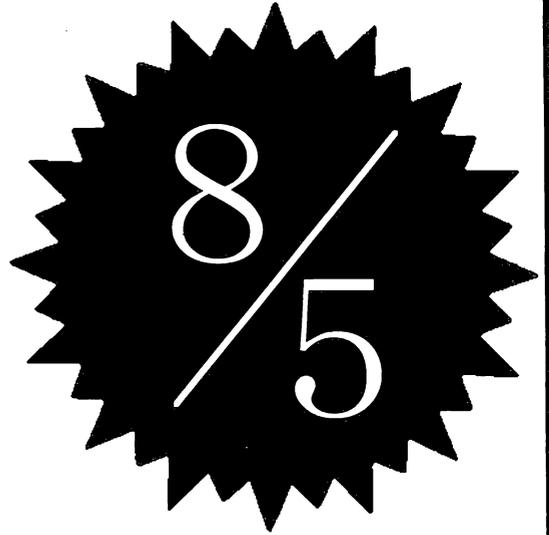
大阪市北区本庄東2-6-11宝来堂ビ

ル1階

問い合わせ先：障害者福祉作業センター

「たけのこ」内 ☎ 06-6372-8074

■「サロンいたみ」8月の出会いはお休みです



今年の夏も  
あべのカーニバル  
さろん亭で  
会いましょう！

# さろん亭

あべのカーニバル  
なんでも市通り

連絡先 富田慶子 545-0021 大阪市阿倍野区阪南町6-3-26 TEL/FAX 06-6691-1028

## 寄りみち



ただでさえ、暑いというのに、今年は、東太平洋赤道上で海水の温度が低くなるラニーニャ現象の影響で猛暑になるとの予報もあるようです。この暑い最中の8月5日(日)、阿倍野区役所東側・工芸高校グラウンドに「さろん亭」がオープンします。あべのカーニバル・なんでも市通りで熱く燃える「さろん亭」にお越しく下さい。暑いから気が進まない、と暑さを言い訳にしないで、来てくださいネ。8月5日(日)3時です。(石)

<サロン・あべの>VOL. 253 発行:平成19(2007)年7月21日 定価¥100  
編集人:<サロン・あべの>運営委員会 表題:中西利香・筆 文中イラスト:石田美禰子  
事務局:〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町6-3-26 富田慶子方<サロン・あべの>  
TEL・FAX 06-6691-1028 郵便振替口座:サロン・あべの 00950-9-26941  
印刷:セルフ社 〒546-0044 東住吉区北田辺町4-23-2 ミスターDビル2F TEL06-6719-8212  
ホームページ: <http://pweb.sophia.ac.jp/~t-oka/salon/> 「サロン あべの」でも検索できます